セラミックバレー振興補助金交付決定額（令和２年度事業）

申請者名及び事業名	事業の種別（要綱該当項目）	事業概要	申請金額	審査後の対象申請金額（a）	合計点数（500点満点）	得点順位	＊得点率（ｂ）	交付額（a)×(b) ＊千円未満は切捨
有限会社　マル利陶器 代表取締役　鈴木利明 第49回国際ホテル・レストラン・ショー出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	美濃焼と地元の絵付け加工技術の宣伝と販売経路拡大を目指すもの。 近年では結晶釉や色釉の商品が多く生産されている。現在他県、他国の産地でも同じ物が作られている。絵付け加工商品は細かい対応を求められるので他県、国外では対応が難しく、絵付け加工の対応を多治見でなら出来るというアピールがしたい。また、地元に仕事が増えることにより、減少している職人の育成にもつなげたい。	1,000,000	申請金額の通り	378	1	100%	1,000,000
株式会社　織部 陶芸体験施設増設工事・備品整備	要綱第３条（１）シェア工房整備事業　ア、イ該当	今の工房では、団体の受入は不可能で、子供会・学校・バス観光など各種団体からの問い合わせがあるが、お断りしている状況。現在のカフェの一部を、ろくろ体験・手びねり体験・絵付け体験でシェア工房として貸し出せるように改装・整備する事業。もっと多くの方に陶芸体験していただけるよう整備したい。もっと陶芸の楽しさを知っていただきたい。織部本店全体をねんどパークと捉え（売店・工房・カフェ・庭園）と４つのシーンでお客様に楽しんでいただけるように、多治見の名所となるように計画をしている。	2,000,000	申請金額の通り	352	2	75%	1,500,000
株式会社　藏珍窯 代表取締役　小泉年延 全国やきものフェアinみやぎ出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	東北地方への販路を拡大し、藏珍ブランドの知名度を上げる。会社としての小売事業のベースアップを図る。	180,400	申請金額の通り	351	3	75%	135,000
株式会社　藏珍窯 代表取締役　小泉年延 全国陶磁器フェアin福岡(仮)出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	九州地域への販路を拡大し、藏珍ブランドの知名度を上げる。会社としての小売事業のベースアップを図る。	159,300	申請金額の通り	351	3	75%	119,000
草の頭窯：青山双男 五条坂陶器祭出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	近年、草の頭窯では海外向けに英文のホームページの作成を行い、海外へのアピールを行っている。京都でのイベントで関西方面へのアピールと海外からのインバウンドの両方を狙いたい。	126,500	申請金額の通り	345	5	75%	94,000
株式会社　藏珍窯 代表取締役　小泉年延 藏珍窯　代官山展出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	関東地域への販路を拡大し、藏珍ブランドの知名度を上げる。会社としての小売事業のベースアップを図る。	166,000	申請金額の通り	330	6	75%	124,000

株式会社幸兵衛窯 全国やきものフェアinみやぎ出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	近年、やきものが示す役割も変化しており、日常使いの器の消費量がかなり減っている。しかしながら、先代から伝わる青釉（ペルシアンブルー）は、当窯独自のカラーであり、近年、日常使いの器から、インテリア・アクセサリー等のファッションとして売り出している。特に、青釉のアクセサリーは、宣伝効果が絶大。やきもの好きが集まるイベントに反復して出展し、魅力を伝えることが必要。全国の中で、やきものに関心が高い地域であり、第1回目から出展している。当窯の宣伝を継続し、やきもの街多治見市への誘客に繋げれるよう出展する。	157,250	申請金額の通り	308	7	75%	117,000
株式会社幸兵衛窯 西日本陶磁器フェスタ出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	近年、やきものが示す役割も変化しており、日常使いの器の消費量がかなり減っている。しかしながら、先代から伝わる青釉（ペルシアンブルー）は、当窯独自のカラーであり、近年、日常使いの器から、インテリア・アクセサリー等のファッションとして売り出している。特に、青釉のアクセサリーは、宣伝効果が絶大。やきもの好きが集まるイベントに反復して出展し、魅力を伝えることが必要。本場九州に出展し、多治見焼をもっと知っていただき、磁器から陶器まで対応可能なこと、かつ歴史ある最大のやきもの地域であることを伝えて参ります。	154,500	申請金額の通り	306	8	75%	115,000
株式会社幸兵衛窯 テーブルウエアフェスティバル出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	近年、やきものが示す役割も変化しており、日常使いの器の消費量がかなり減っている。しかしながら、先代から伝わる青釉（ペルシアンブルー）は、当窯独自のカラーであり、近年、日常使いの器から、インテリア・アクセサリー等のファッションとして売り出している。特に、青釉のアクセサリーは、宣伝効果が絶大。やきもの好きが集まるイベントに反復して出展し、魅力を伝えることが必要。屋内で行われる日本一集客のあるやきものイベントに出展し、青釉を前面に出し、やきもの街多治見市への誘客に繋げれるよう出展する。	457,000	申請金額の通り	303	9	75%	342,000
やき物教室杜の土　HO-CA 代表　柴田節郎 薪窯築炉（穴窯）事業	要綱第３条（２） 滞在型作陶施設整備事業ア該当	近年、外国からのお客様からは穴窯焼成について要望が多くある。今回、築窯する穴窯は、薪と炭を燃料としており、経済的にも優しい窯で、自由自在に多くの焼成パターンを駆使することが可能である。是非とも穴窯を築き、陶芸の原点を皆様に体験して頂きたい。	2,000,000	申請金額の通り	301	10	75%	1,454,000 （予算残額が交付金額に満たないため）
住吉窯：小木曽教彦 テーブルウェア・フェスティバル出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	箸置き、手作りの茶碗がある食卓で、「いただきます」から始まる食事の大切さを伝える。併せて、手作りの志野焼、織部焼を使う楽しさを知ってもらい、その生産地である多治見にも興味をもってもらい、来窯へつなげる。	391,670	申請金額の通り	299	11	0	0
住吉窯：小木曽教彦 第9回全国やきものフェアinみやぎ出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	志野焼、織部焼をはじめとする美濃焼を東北地方へ販路開拓をするもの。東北地方で顧客獲得を図り、来窯してもらうことで、多治見の観光にもつながる。	198,050	申請金額の通り	297	12	0	0
住吉窯：小木曽教彦 五条坂陶器祭出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	京都という観光地で、海外からの人々との出会いも多い。美濃焼の海外へのＰＲにつながる。京都で営業している料理店やギャラリーの方々との出会いもあり、販路拡大を目指す。多治見市から比較的近距離の開催なので、来窯も期待できる。	84,280	申請金額の通り	297	12	0	0

安藤寛泰 第9回全国やきものフェアinみやぎ出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	東北方面を中心に北関東、北海道地方からの来場も見込めるイベント。今回２回目の出展になる。【美濃焼】、【壽泉窯　安藤寛泰】の宣伝及び、新作の発表を行う。また、取扱い店舗を探し市場拡大を狙う。	164,540	申請金額の通り	264	14	0	0
安藤寛泰 第23回全国陶磁器フェアin福岡2021（仮）出展事業	要綱第３条（４） 見本市等出展事業	一昨年、昨年に引き続き、九州方面における【美濃焼】、【壽泉窯　安藤寛泰】の宣伝、及び新作の発表をする。また、取扱い店舗を探し市場拡大を狙う。	167,800	申請金額の通り	258	15	0	0
美濃焼和食割烹　二代目　浪花 木下高成 飲食店が行う、“食と美濃焼”の魅力を伝える美濃焼産業振興事業	要綱第３条（５） その他市長が適当と認める事業	「美濃焼和食割烹　二代目　浪花」のコンセプトは、「多治見の浪花に来れば、美濃焼がもっと身近になる、もっと好きになる」であり、多治見や美濃焼文化と出会い大いに親しんでいただける料理処である。近年では観光ツアー一客の利用も増加傾向にあり、県内外の多くのお客様に、当店の味のみならず、美濃焼にも触れられることが高評価をいただいている。今後も、「地場産業の美濃焼のＰＲ」や「観光拠点化」という取組みを強化するため、観光機能を持つコンテンツの強化を目指す。その具体策として、当店独自の「美濃焼陶板画像解析システム」を活用した美濃焼陶板の展示強化に取り組む。	1,000,000	申請金額の通り	239	16	0	0
			8,407,290				775%	5,000,000

※得点率：得点の割合（%）【合計点数÷500点（満点）×100】に応じて以下のとおり
　得点の割合が75%以上　　得点率100%
　得点の割合が60%以上75%未満　　得点率75%
　得点の割合が60%未満　　得点率0%

<u>補助金の交付額は、得点率を補助申請額に乗じて得た額。</u>

（多治見市セラミックバレー振興補助金交付要綱第１１条第１項）